

健康増進や防災で連携

羽島市とバローHDが協定

羽島市とバローホールディングスは健康増進や防災といった持続可能なまちづくりを実現するため、包括

連携協定を結んだ。

協定ではそれぞれの資源を生かし、健康や福祉、教育などの分野で連携する。同社が県内の自治体と同様の協定を結ぶのは、県を含めて7例目。

協定に基づき、本年度から市の健幸フェスティバルや介護予防教室に同社が専門職を派遣する。家庭や企業で余った食品を持ち寄り、必要とする人に届ける「フードドライブポスト」の設置や、防災グッズの展示なども計画している。

市役所で締結式があり、松井聡市長は「幅広い活動をする御社と力を合わせて

いきたい」、小池孝幸社長は「民間と行政のサービスで地域課題解決を図る」と

それぞれ話した。

(安井真由子)



協定を結んだバローホールディングスの小池孝幸社長(右)と羽島市の松井聡市長
＝同市役所